**令和5年度　徳島大学学際的次世代研究者育成プログラム　申請書**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 希　　　望 |  | 医光融合コース（ひかりフェローシップ）　 |  | 異分野融合コース（うずしおプロジェクト） |
| *※希望順位をつけてください。（例：①，②）* |
| ふりがな氏　　　名 |  |
|  |
| 生年月日 | （西暦）　　　年　　　月　　　日 |
| 学生番号 | *※入学予定者は記載の必要はありません* |
| 学年 | 　　　　　　　　　　　年*※令和5年4月1日現在の学年を記入してください* |
| 学　　　歴（学部・大学院） | 1.　　　年　　月　　　大学　　　学部　　　学科卒業2.　　　年　　月　　　大学大学院　　　研究科(教育部)　　　課程入学3.　　　年　　月　　　大学大学院　　　研究科(教育部)　　　課程修了4.　 　 年　　月　　　大学大学院　　　課程入学（見込み）　　　　　　　　　　　　（　　　　　　研究科（教育部）　　　　　　専攻）特記事項：*※出産・育児等のライフイベントによる研究中断期間を記入してください*□　臨床研究を課せられた医学系分野に在籍していた*※該当者はチェックを入れて下さい* |
| 修士論文（卒業論文）題　　目 | *※該当しない場合は記載の必要はありません* |
| 研究・職歴等 | 1.　　　年　　月　～　　　年　　月2.特記事項：*※出産・育児等のライフイベントによる研究中断期間を記入してください* |
| 指導（予定）教員職名・氏名 |  |
| 申請者の連絡先 | 〒　　　－E-mail：TEL： |
| 資格確認 | *※令和5年4月1日現在の状況（予定）について確認し、チェックを入れて下さい*□　我が国の科学技術・イノベーションの創造に携わる意思があり、未開拓な研究領域に挑戦する意欲があります□　日本学術振興会の特別研究員ではありません□　国費留学生制度による支援を受ける留学生ではありません□　本国から奨学金等の支援を受ける留学生ではありません |
| 収入状況 | □　安定的な収入を得る仕事に就いています*※今後一年間の収入状況（令和5年4月1日現在の状況（予定））について、記入してください*令和5年度収入見込額：年額　　　　　　万円 |
| 他の奨学金の受給状況 | *※他の奨学金の受給状況（令和5年4月1日現在の状況（予定））について、いずれかの□にチェックし、必要事項を記入ください*□　入学一時金を除き、いずれの奨学金も受給及び申請していません□　以下の奨学金を受給することが　決定しています　／　申請中です*※不要な文字を削除*名称：月額：　　　　　万円（期間：令和　　年　　月　～　　年　　月） |

**【現在までの研究状況】**

|  |
| --- |
| 次の項目について１頁以内で記述してください。（図表を含めてもよいので、わかりやすく簡潔に記述してください。）1. これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
2. 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。

なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。※ただし、医学部医学科及び歯学部歯学科卒業（予定）者のうち入学予定者は記載の必要はありません。 |

**【これからの研究計画】**

|  |
| --- |
| 文頭に概念図を記載し，続けて，次の項目について記述し，２頁以内でまとめてください。（図表を含めてもよいので、わかりやすく簡潔に記述してください。）1. これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等
2. ①の状況を踏まえた、研究分野、研究目的、研究方法、学際的研究分野（うずしおプロジェクト）又は医光融合分野（ひかりフェロー）に資する研究計画（内容）
3. これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
4. 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
5. 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

なお、研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記述してください。 |
| **研究テーマ：** |

（参考）ポンチ絵（サイズは自由）

※研究の全体像を示す図を作成し，貼り付けてください。

（この枠は削除してください）

**【研究遂行能力】**

|  |
| --- |
| 研究を遂行する能力について、これまでの研究活動をふまえて２頁以内で述べてください。これまでの研究活動については、網羅的に記載するのではなく、研究課題の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜引用して述べてください。本項目の作成に当たっては、当該文献等を同定するに十分な情報を記載してください。具体的には、以下①～⑥に留意してください。1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）

著者、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年を記載してください。1. 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
2. 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）

著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）1. 国内学会・シンポジウム等における発表

③と同様に記載してください。1. 特許等（申請中、公開中、取得を明らかにしてください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみ記載してください。)
2. その他（受賞歴等）
 |

**【研究者を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等】**

|  |
| --- |
| 本プログラムは、我が国の学術技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士人材を養成することを目的としています。支援対象学生は修了後も我が国の学術技術・イノベーションの創造に直接携わる意思、能力を有することが前提であり、自由で挑戦的・融合的な研究を支援します。この目的に鑑み、研究者を志望する動機、目指す研究者像、アピールポイント等を1頁以内で記入してください。 |